

第24回マリヤコンサート ブルーグラス 屋外フェス

■日時/2021年10月23日(土)
10:00~12:00
■会場/聖マリヤ教会庭園
北杜市長坂町
■出演/やまなしブルーグラス愛好会

Published by CopitGrass
2021.10.23

ご挨拶

本日はご来場、誠にありがとうございます。演奏をする「やまなしブルーグラス愛好会」は甲斐、韮崎、北杜3市を中心に山梨県内、近県のみなさん達により2016年より活動している音楽愛好会です。世界中が未曾有の困難となった2020年、2021年、今ここに来てようやく少し落ち着き、前を見られるようになりました。そして今ここに本会が開催できたことみな様に感謝いたします。秋空のもとでBLUEGRASSなひとときをみなさまと共に楽しみたいと思います。

PROGRAM

♪ オープニング(10:00)

・Billy In The Lowground

♪ 江の島あいランド〜ず

・On The Sea Of Galilee

・Tennessee Waltz

他2曲

Flat
Mandolin



ブルーグラスのみならずフォーク、ポップス、スタンダードにも手を出したがる無謀な4人。…なのでバンド名も少タイレギュラーしています。

〈メンバー〉

Gt.石井喜雄
Bs.太田光紀
Fd.雨宮 修
Md.加藤達男



♪ Sacred Riders

・What A Friend We Have In Jesus

・Happy Sunny Side Of Life

・Where The Soul Of Man Never Dies

会の中で最もまじめにブルーグラスを演奏してます。セクレッド系楽曲を好み、兩人ともバイク乗りであることからこのユニット名です。

〈メンバー〉

Gt.乙黒英二
Md.佐野鐘悦



♪ 守屋角館 & Grass Boys

・Home Sweet Home

・Take Me Home Country Road

・Little Mountain Church House

・Red River Valley

ブルーグラス初心者である守屋、角館両氏をサポートするために結成されました。ブルーグラス・ミュージックに直向きに取り組んだこれまでの積み重ねをご披露します。

〈メンバー〉

Bj.守屋弘巳

Vo.角館忠夫

(サポート:Gt.石井/Md.乙黒/Fd.雨宮/Bs.太田)

♪ 3/4 String Band

・Cherokee Shuffle

・Big Mon

・In Tall Buildings

・My Little Girl in Tennessee

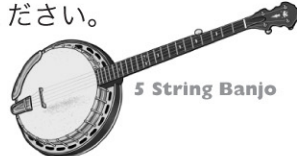
県内随一のブルーグラスバンドである八ヶ岳マウンテンボーイズが今回1名参加出来ないことで、急遽このユニット名で演奏します。ブルーグラスのソリッドな旋律をスリリングなリズムとスピードでお楽しみください。

〈メンバー〉

Bj.福沢武雄

Md.岩下寛

Bs.成澤康



♪ Happy & Bluegrass

・Back To The Cross

・Dixie Breakdown

・Angel Band

・My Old Kentucky Home

こびっとグラスの中で演奏活動の経験者を中心に、こつこつと腕を磨く他メンバーみなさんの底上げを担うユニットです。但し全体的に年齢層が高いためミディアムテンポ以下の選曲が中心となっています。

〈メンバー〉

Gt.石井喜雄

Fd.佐野鐘悦

Bs.太田光紀

Md.乙黒英二

Bj.加藤達男



♪ フィナーレ・ジャムセッション

・Foggy Mountain Breakdown

・Old Salty Dog Blues

・You Are My Sunshine

♪ 終演(12:00)



St.Mary Church Meets CopitGrass 《聖マリヤ教会とやまなしブルーグラス愛好会》

第24回マリヤコンサートと銘打ったこの会で私たち「やまなしブルーグラス愛好会」が演奏できること大変光栄に思い、佐野画伯はじめ司祭様、委員会みなさまには大変感謝です。

ど人生そのものが強烈な2ビートや美しいコーラスに載せ歌唱・演奏されるのがブルーグラスの特徴です。そしてジャズやロックと同じように我が国へも伝わりました。

ブルーグラスという音楽ジャンルはアメリカ移民とともにヨーロッパから伝来した音楽が奴隷時代の黒人音楽と融合し進化した音楽なのです。そもそも移民自体宗教が深く関わっているので伝承された歌などはキリスト教や聖書と深い関わりを持ちながらアメリカで人々に引き継がれてきました。

話しをもどします。2015年今のメンバー2名が率いるバンドが教会でコンサートを開催しました。そして開催後ブルーグラス交流会が行われ、盛り上がる話題の中から定期的にワークショップ的な交流会を開く希望があり、その定期開催がその後名を改め「やまなしブルーグラス愛好会」通称『こびっとグラス』となり現在まで通算56回を数える開催となっている訳です。

その歴史の中民衆の生活そのものが歌われては伝承を重ね、家族や故郷の話し、楽しく過ごした思い出、ストイックに神を仰ぐもの、犯罪を題材にしたもの、失恋の歌、情けない男の生きざまな

つまり21世紀、山梨のブルーグラス・シーンはこの聖マリヤ教会から始まったと言っても過言ではない、まさにこびっとグラスの聖地なのでした。

“こびっとグラス”



現在自粛規制解除へ向け
定期開催準備中。
そしてメンバーも募集中です。
以下へ連絡お待ちしております。



✉ yba@popco.jp

こびっとグラス

検索

今回演奏される楽曲について

■Billy In The Lowground

トラディショナル曲。トラディショナルとは作詞、作曲者などが不詳とされ昔から口づたえなどで伝承された地域固有の音楽を指します。日本の民謡なども、広い意味でのトラディショナルといえます。この曲はフィドル楽曲として伝え弾かれてきました。

■On The Sea Of Galilee

新約聖書にはイエスキリストの活動はほとんどがイスラエルのガリラヤ湖周辺で行われていたとあり、その伝道の中に起こした数々の奇跡の様子も書かれています。この曲はキリストが湖面を歩いた奇跡を羊飼いとなった元十字軍兵目線で描かれた歌です。

■Tennessee Waltz

ダンスパーティーで再開した旧友に紹介した恋人を奪われてしまう男の切ない話。合衆国テネシー州の州歌にもなっています。

■What A Friend We Have In Jesus

賛美歌312番「いつくしみ深き 友なるイエス」の日本語版で有名、教会では最も親しみのある曲です。

■Happy Sunny Side Of Life

アメリカンルーツミュージックを代表する不朽のトラディショナル。数々のミュージシャンがカバーしている。心地よい輪唱コーラスや楽器の掛け合いが特徴。

■Where The Soul Of Man Never Dies

天国では人の魂は死ぬことはないということを歌っているトラディショナル曲です。

■Home Sweet Home

世界中で有名なイングランド民謡です。我が国では「塙生の宿」「楽しき我が家」というタイトルで親しまれ、その優しく柔らかな旋律で国内鉄道や行政無線のチャイムなどに多く使われています。今回はブルーグラスの各楽器でメロディーを奏でるインストリメンタルでお聴きください。

■Take Me Home Country Road

昭和の時代に日本でも「故郷へかえりたい」というタイトルのポピュラー曲としてヒットしたジョン・デンバーの代表曲です。歌詞にあるブルーリッジ山脈は実はウェストバージニア州を通っておらず、さらにシェナンドー川もわずかにかかるだけで、そのほとんどは隣のバージニア州を流れているということを、ジョン・デンバーが知らずに制作してしまったという裏話がある曲なのでした。

■Little Mountain Church House

古来お寺や神社を取り囲むように民衆が住みはじめ村や町が形成されるように、アメリカでは教会を中心に人々が集り生活がはじまりました。そんな小さな山間の教会に物心ついたときから親しみ通いつめた作者が人生とともに思い出をふりかえる歌でしょうか。

■Red River Valley

アメリカ西部開拓時代の甘く切ないラブソング。ホットな歌なのに詠み人知らずのトラディショナル曲です。

From this valley they say you are going
I will miss your bright eyes and sweet smile
They say you are taking the sunshine
That has brightened our path for a while.

Come and sit by my side if you love me
Do not hasten to bid me adieu
But remember the Red River Valley
And the cowboy that loved you so true.

I've been thinking a long time my darling
Of the sweet words you never would say
Now at last all my fond hopes have vanished
They say that you're going away

■Cherokee Shuffle

ブルーグラスではセッション曲としても代表的な軽快なフィドルチューン。

■My Little Girl In Tennessee

Flatt and Scruggsなどの演奏が代表的なブルーグラスのスタンダード曲。

■In Tall Buildings

1970年代頃に活躍したシンガーソングライター John Hartford の、慣れ親しんだ故郷との別れを歌った曲。

■Big Mon

ブルーグラスの父、Bill Monroe が作曲したアグレッシブなインストゥルメンタル。

■Back To The Cross

賛美歌のようなスローバラード。日本での高石友也による意識は秀逸。

■Dixie Breakdown

ブルーグラスではお馴染みのバンジョーインストリメンタル曲です。ドン・レノというバンジョー奏者が作曲しました。フィドルやマンドリンとのスリリングな掛け合いが楽しめる曲です。

■Angel Band

伝統的なゴスペルソング。子守歌のような安堵感のあるメロディーのワルツ。ブルーグラス界ではスタンレー・ブラザーズ、エミルー・ハリスで有名です。

■My Old Kentucky Home

突然のプランター不作により別れを余儀なくされた黒人一家との思い出を歌ったフォスターの名曲。日本ではケンタッキーフライドチキンが食べたくなる曲でしょうか。

■Foggy Mountain Breakdown

ブルーグラスでのバンジョーの奏法を編み出したアール・スクラッグスの代表的なインストリメンタル曲。世界恐慌時代実在したギャング、ボニー&クライドを映画化した邦題「俺たちに明日はない」のカーチェイスシーンの挿入曲で有名です。

■Salty Dog Blues

今でこそ“塩対応”という言葉がありますが、好きな女性に相手にされない男の何が何でもすがりつくザマをしょっぱい想いと忠犬願望とで歌いあげているとも言いましょうか…?

■You Are My Sunshine

みなさんと一緒に歌いたいと思います。

〈みんなで〉

You are my sunshine
My only sunshine.
You make me happy
When skies are grey.
You'll never know, dear,
How much I love you.
Please don't take my sunshine away

The other night, dear,
As I lay sleeping
I dreamed I held you in my arms.
When I awoke, dear,
I was mistaken
So I hung my head and cried.

*** みんなで ***

I'll always love you
And make you happy
If you will only say the Same
But if You leave me to love another
You'll regret it all some day

*** みんなで ***

*** みんなで ***

Please don't take my sunshine away
(2 times)

(こびっとグラス世話役加藤による勝手な説明と解釈が一部を除きかなり含まれております、どうかあしからず。)

